

平成24年12月期第2四半期 決算短信補足説明

当第2四半期累計期間における主な取り組み

株式会社ネットインデックスの転換社債型新株予約権付社債及び新株予約権の引受

- 株式会社ネットインデックス(以下「ネット社」といいます。)の債権を株式会社インデックスから譲受しました。(3月)
- 当社がネット社に対して保有する債権を転換社債型新株予約権付社債に振り替えました。(6月)
- ネット社が第三者割当により発行する新株予約権を引き受けました。(6月)
- ネット社に対し当社が保有するイー・旅ネット・ドット・コム(株)の全株式を7月に譲渡する契約を締結しました。(6月)

(後発事象) 株式会社ネットインデックスの株式取得による連結子会社化

- ネット社から引き受けた転換社債型新株予約権付社債の転換及び新株予約権の行使により、ネット社の総議決権の53.59%を保有し、当社の連結子会社となりました。(7月)
- 当社の新事業として「デバイス事業」を開始し、新セグメントとして設置いたします。(8月)

Financial Highlights

平成24年12月期第2四半期累計期間業績(連結)

(対前年同期比較)

(単位:百万円)

	平成24年12月期2Q	平成23年12月期2Q	差異	前年同期増減率
売上高	1,209	376	833	221%
売上原価	737	109	627	574%
売上総利益	472	267	205	77%
販売費及び一般管理費	435	252	182	72%
営業利益	37	14	22	151%
経常利益	56	10	46	467%
四半期純利益	58	62	▲4	▲7%

平成24年12月期第2四半期累計期間(連結)の業績

売上高

売上高は、イー・旅ネット・グループの連結に伴い、前年同期と比較して221%増となる12億9百万円となり、8億33百万円の増収となりました。セグメント別の内訳では、情報サービス事業が3億77百万円、コンサルティング事業が61百万円、インターネット旅行事業で7億70百万円となりました。

営業利益

営業利益につきましては、インターネット旅行事業における売上原価の増加があったものの、粗利率の高いコンサルティング事業の売上高の増加により、37百万円の営業利益を計上いたしました。

経常利益

経常利益につきましては、「受取利息」17百万円等を営業外収益(21百万円)に計上した一方で、営業外損失(2百万円)の計上により、56百万円となりました。

四半期純利益

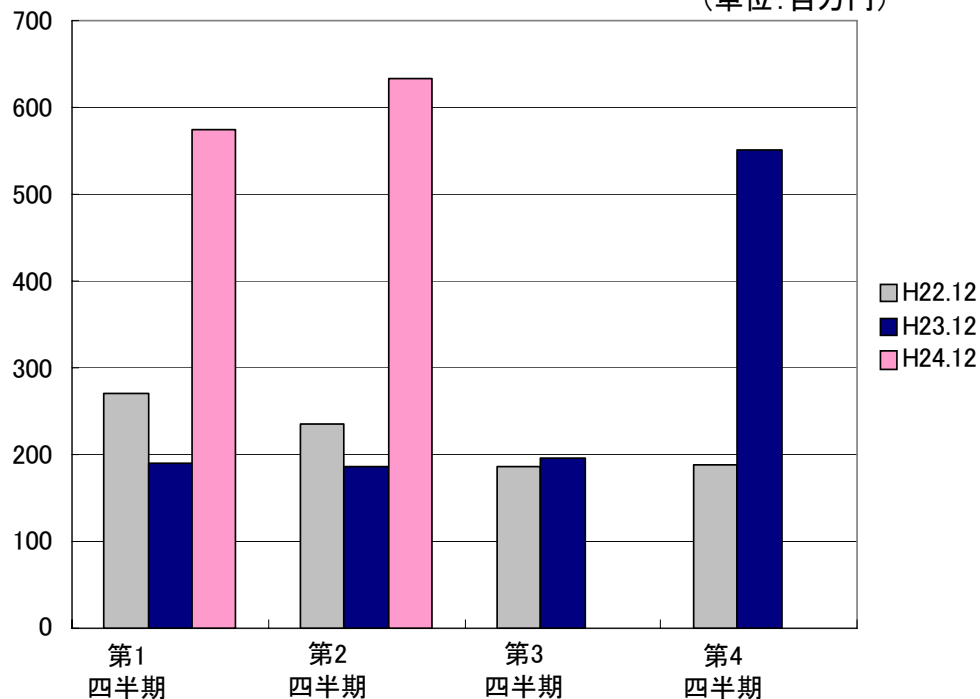
四半期純利益は、「投資有価証券売却益」2百万円等の特別利益を計上した一方で、特別損失1百万円を計上し、法人税等を控除した四半期純利益は58百万円となりました。

Financial Highlights

平成24年12月期第2四半期累計期間 連結業績

連結売上高

(単位:百万円)

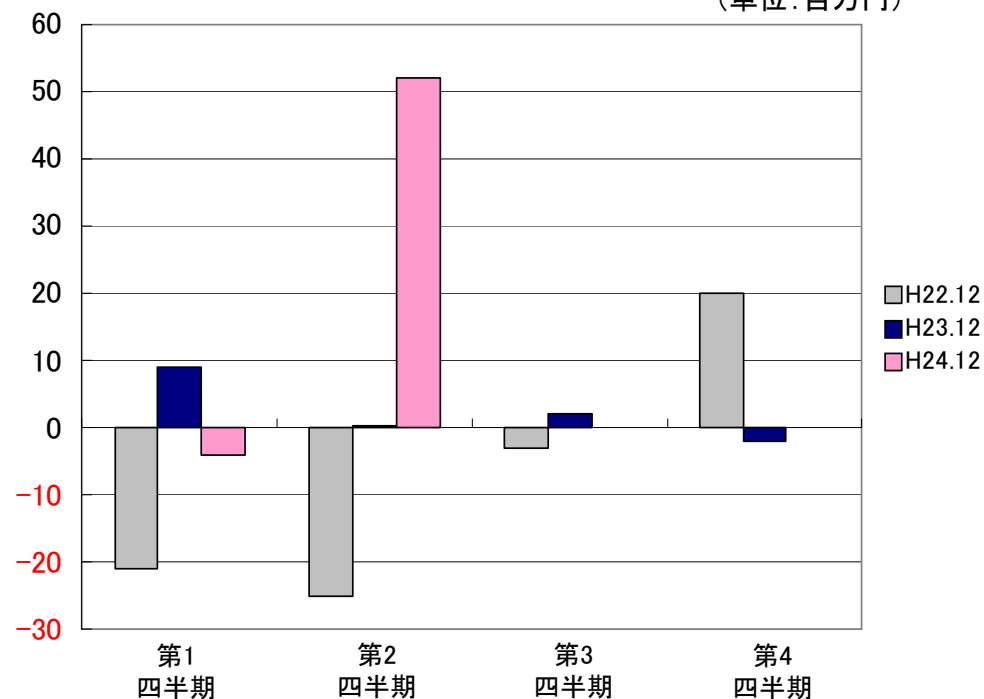


(単位:百万円)

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	通期
H22.12	271	235	186	188	881
H23.12	190	186	196	552	1,125
H24.12	575	634	-	-	-

連結経常利益

(単位:百万円)



(単位:百万円)

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	通期
H22.12	-21	-25	-3	20	-29
H23.12	9	0	2	-2	10
H24.12	-4	52	-	-	-

セグメント情報

情報サービス事業

前年同期比10百万円増加

〈主な増収要因〉

- | | | |
|----------------|--------|---|
| ■ アウトソーシングサービス | +28百万円 | ⇒ 新規顧客の獲得により堅調に推移。 |
| ■ 企業調査レポート | +11百万円 | ⇒ 上場会社の最新の決算状況を中正・公平な視点で分析する多言語による企業調査レポートの提供先の拡大に注力。 |

〈主な減収要因〉

- | | | |
|---------------------------------|--------|------------------------------------|
| ■ 法人向けリアルタイムサービス | △21百万円 | ⇒ ベンダー間競争の激化及び金融機関の経費削減による影響を受け減収。 |
| ■ 個人向けサービス
クラブフィスコ(LaQoo+含む) | △ 5百万円 | ⇒ 欧州における金融危機の懸念から個人投資家の投資意欲が減退。 |

コンサルティング事業

前年同期比46百万円増加

〈主な増減要因〉

- | | | |
|-------------------------------|--------|--|
| ■ ファンド事業関連
並びに金融コンサルティング関連 | +51百万円 | ⇒ FISCO(BVI)Limited Partnershipからの管理報酬の収入に加え、コンサルティング契約の新規受注による増益。 |
|-------------------------------|--------|--|

セグメント情報

インターネット旅行事業 770百万円(当第2四半期累計期間)

〈主な要因〉

インターネット旅行事業におきましては、海外旅行は円高基調が継続していることから堅調に推移しております。国内旅行におきましても、昨年度の大震災の影響を受けた旅行に対する自粛ムードから回復傾向が顕著となりました。なお、インターネット事業につきましては、前連結会計年度の第4四半期連結会計期間に設置したため、前年同期比は記載しておりません。

連結貸借対照表 主要項目(前期末比)

(単位:百万円)

	当第2四半期末	平成23年12月期	変動額
流動資産	993	1,227	▲233
現金及び預金	160	926	▲766
その他	833	300	532
固定資産	1,283	650	633
有形固定資産	54	23	31
無形固定資産	321	293	28
投資その他の資産	907	333	573
繰延資産	1	2	▲0
資産合計	2,278	1,879	398
流動負債	577	286	291
固定負債	97	101	▲4
負債合計	675	388	286
資本金	1,195	1,195	—
資本剰余金	850	850	—
利益剰余金	▲430	▲489	58
自己株式	▲144	▲136	▲8
その他の包括利益累計額	▲5	▲14	8
新株予約権	16	10	5
少数株主持分	121	74	46
純資産	1,603	1,491	112
負債・純資産合計	2,278	1,879	398

株式会社ネットインデックスの債権譲受にともない現預金が減少しました。

私募債を引受けたことにより、投資有価証券が増加しました。

イー・旅ネット・グループの旅行代金の前受金が増加しました。

四半期純利益の計上により利益剰余金が増加しました。

重要な後発事象

株式会社ネットインデックスの連結子会社化

平成24年7月17日に株式会社ネットインデックスの発行する転換社債型新株予約権付社債の転換及び新株予約権を行使し、同社の議決権比率の53.59%を保有することとなり、株式会社ネットインデックスは当社の連結子会社となりました。

今後は、当社の中国における人的・物的ネットワークを最大限に活用して、株式会社ネットインデックスが新設する中国子会社の事業サポートを強力に推進するとともに、金融機関からの新規融資開拓等の資金面や取引先との関係強化のための営業面も含めた経営のバックアップを全面的に実施し、同社のV字回復のサポートを強力に推進してまいります。

(1)	商号	株式会社ネットインデックス
(2)	本店所在地	岩手県花巻市柵ノ目第2地割32番地1
(3)	代表者の役職・氏名	代表取締役社長 秋山 司
(4)	事業内容	PHS、携帯等モバイル通信機器の開発及び販売
(5)	資本金の額	1,586,369千円
(6)	設立年月日	昭和59年4月21日



Link to the Future™

未来の「LINK(つながる)」を創る。

私たちは、データ通信機器の開発メーカーから飛躍し、最先端の技術と、新しいコト、モノに挑み続けるチャレンジ精神で、人々の「～したい」を実現するITカンパニーに生まれ変わります。

「いつでも、どこでも、誰とでも」、人と人、人と企業、人と社会がつながる、そんなユビキタス社会における未来のコミュニケーションを先端技術で支え続けます。

私たちは、来るべきユビキタス社会のリーディングカンパニーをめざします。